



女性役員 の状況	R2.12 第5次男女共同参画基本計画閣議決定時	R7.5 R7の役員改選時期
役員数	31名	31名
女性役員数（割合%）	3名（10%）	7名（23%）



女性登用の課題

- 5JAが合併し、現JAとなった当時、女性部研修会において、JA組合長から「これからは女性も役員を担って活躍する時代」とのエールが後押しとなり、女性役員1名が地区選出枠で誕生。現在も筆頭理事として活躍。
- しかし、地区から選出された女性役員は彼女1名であった。

女性登用の取組

- 男女共同参画を推進するため、平成27年に理事会選出の女性枠（2名）を設けた。
- 更に、令和7年の改選に向けて、令和6年に女性枠を3～5名に拡大し、各地域から人選できる体制づくりを行った。
- 令和3年に、員外監事として女性の社労士を迎える。
- JA女性部でリーダー等研修を実施。

取組成果・登用効果

- 令和7年度の改選により女性理事がこれまでの3名から6名（内1名は地区選出枠）に増えたことにより、更に、男女の区別なく意見を受けることができる。
- 40歳代の女性理事が加わり、理事層の若返りが進んだ。

今後の展望

- 農家の高齢化に伴い、男女ともにJA理事として活躍いただける候補者が限られることから、将来を担う組合員の年齢層も考えて、男女共同参画に取り組んでいきたい。
- 女性ならではの視点によるJA運営と組織の活性化の促進を図っていく。

JA女性部研修会の様子



組合員座談会の様子

